

第16回 YGN 若手勉強会

気候変動問題入門：なぜ『カーボンニュートラル』を目指すのか？

来る1月16日、日本原子力学会・若手連絡会（YGN）は、「気候変動問題入門：なぜ『カーボンニュートラル』を目指すのか？」と題する勉強会を開催致します。

2020年10月26日、菅総理は「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを表明しました。「カーボンニュートラル」とは、温室効果ガスの正味（ネット）の排出量をゼロにすることを意味します。この「ネットゼロ排出」は、気候変動に関する国際的な政策論議において、近年の主要な論点の1つです。

本勉強会では、原子力政策や気候変動政策を専門とする若手研究者（YGN 運営委員）より、「なぜ『カーボンニュートラル』を目指すのか？」について、パリ協定を中心とした国際的な枠組みや、近年の科学や政策の動向を交えて解説します。後半には、これらを踏まえて、脱炭素社会における原子力の価値の「考え方」について議論します。お気軽にご参加ください。

- 記 -

【日時】 2021年1月16日（土） 13:30-16:00

【方法】 オンライン（ZOOMを使用）

【プログラム】 13:30-13:40 開会、趣旨説明
13:40-14:20 制度編：パリ協定とは何か？ ※
14:20-14:30 休憩
14:30-15:10 政策編：なぜ『カーボンニュートラル』を目指すのか？ ※
15:10-15:20 休憩
15:20-16:00 実践編：脱炭素社会における原子力の価値の「考え方」 ※
16:00 閉会

※質疑等を含む

【講師】 堀尾健太氏（一般財団法人 電力中央研究所 社会経済研究所 主任研究員）
専門は原子力政策、気候変動政策。2020年10月に「ネットゼロ排出達成時のCO₂排出・除去の態様—IPCC SR15 シナリオデータを中心とした検討—」と題する報告書を公表（共著）。「2050年カーボンニュートラル」表明後に経済産業省が主催した審議会（第3回グリーンイノベーション戦略推進会議）にて講演。
日本原子力学会若手連絡会（YGN）運営委員。

詳細プロフィール

<https://criepi.denken.or.jp/jp/serc/serc/profile/ke-horio.html>

(関連資料) 坂本将吾、堀尾健太、ネットゼロ排出達成時の CO₂ 排出・除去の態様 IPCC SR15 シナリオデータを中心とした検討一、電力中央研究所報告 Y20001
<https://criepi.denken.or.jp/jp/kenkikaku/report/detail/Y20001.html>
堀尾健太、坂本将吾、IPCC1.5 度特別報告書におけるネットゼロ排出シナリオ
https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/green_innovation/pdf/gi_003_03_03.pdf

【対象】 原則として、原子力・放射線分野に従事する 39 歳以下の若手・学生が対象です。

【定員】 100 名 (先着順)

【参加費】 無料

【申込/期限】 1/15(金)13 時までに以下の URL 先(Microsoft Forms)よりお申し込み下さい。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=nnSlOi0s1ECNyIGXVLFfNOC2pVlbOWNCgRQes25wuK9UMk03SINVMDIOSTBDUjVFNjExUTIVOEhRRy4u>

*アクセス不可の方は下記窓口までお問い合わせをお願い致します。

【問合せ】 日本原子力学会 若手連絡会 中森文博 (電力中央研究所)

メール: nakamori@criepi.denken.or.jp

【備考】 YGN 若手勉強会では「チャタム・ハウス・ルール」を適用し、参加者相互の信頼関係に基づく率直な議論を行います。本趣旨にご賛同の上、ご参加ください。
※チャタム・ハウス・ルール:「会議で得た情報を参加者は自由に使用してもよいが、発言者及びその他の参加者の身元・所属団体は明かしてはならない」というルール。国際会議等
の場で率直な議論を促すために多く用いられている。
本勉強会へご参加いただいた皆様に、YGN 活動(勉強会や見学会のご案内など)のメールマガジンを配信させていただきます。

<YGN 若手勉強会>

日本原子力学会若手連絡会は、日常業務に捉われない自己研鑽、分野や所属を超えた繋がり
の機会創出のため、2016 年 10 月より継続的に開催しております。

- 第 1 回「もんじゅを見つめ直す」(2016 年 10 月)
- 第 2 回「次世代炉開発に向けて考慮すべきことは何か?」(2017 年 2 月)
- 第 3 回「原子力の将来とイノベーション」(2017 年 4 月)
- 第 4 回「次世代小型モジュラー炉:シンプルで安全、そして経済的な選択肢」(2017 年 10 月)
- 第 5 回「安全神話とは何か。私たちは本当に安全神話に囚われていたのか。」(2017 年 11 月)
- 第 6 回「原子力安全と自治体行政:福井県の経験から」(2018 年 2 月)
- 第 7 回「原子力プラント建設の技術継承」(2018 年 5 月)
- 第 8 回「著者と語る『日本の原子力外交-資源小国 70 年の苦闘』」(2018 年 7 月)
- 第 9 回「国際協力・海外進出の現状と今後」(2018 年 12 月)
- 第 10 回「放射線問題と国連 ~2つの『国連』報告を読み解く~」(2019 年 1 月)
- 第 11 回「原子力プラント建設の技術継承②」(2019 年 5 月)
- 第 12 回「原子力防災に携わる。一現場から研究室、そして現場へ」(2019 年 9 月)
- 第 13 回「脱炭素化、イノベーション、原子力の役割」(2019 年 11 月)
- 第 14 回「宇宙探査における原子力利用」(2020 年 9 月)
- 第 15 回「高速炉サイクル若手座談会~高速炉サイクルは何処へ~」(2020 年 12 月)